



## 鹿児島そして日本の国際化に向けて 挑戦と前進を続ける。

(NPO法人global 理事長:大谷宏子さん)

### 活動のきっかけ・想い

### 英語を学ぶことをもっと身近に

日本の南の玄関口である鹿児島はインバウンド需要が多く、アフターコロナにはその回復に向けた取組の1つとしてより一層の国際化が求められます。そこで、国際社会に向けた地域社会づくりを進めているNPO法人globalの理事長・大谷宏子氏に話を聞きました。「私自身、親戚が海外にいたことやロサンゼルスやサンフランシスコへの在住経験もあることから、小さい頃から英語は常に生活の側にありありました。また、キャビンアテンダントの経験から歴史や観光について関わる機会も多かったので、これまでの経験を活かした仕事がしたいと思いました。また、英語を学ぶことはまだまだ一般の方にとって敷居が高いこともあり、もっと広く一般の方に英語を身近に感じて欲しいという想いから法人を立ち上げました。2011年の設立以来、英会話講座や原書で楽しむ英語絵本の講座を開催しています。」

### 主な活動内容

### 鹿児島の国際化に寄与する

事業の1つに「これから楽しむ大人の英会話」と題した、英語を話すための基礎を学ぶクラスがあります。また、本年度は、鹿児島県教育厅と共催した「恋する鹿児島～英会話で伝える街の魅力～」というクラスもありました。鹿児島の方が海外の方に鹿児島の歴史や文化を英語で少しでも案内することができれば、コミュニケーションも取りやすいですし、鹿児島の国際化にも繋がると考えています。他にも、鹿児島市教育委員会と共催した「かんたん英会話で学ぶ明治日本の産業遺産」という講座は、生涯学習として英語を学ぶ場で、プログラムは、例えば「西郷どん」がブームの時には、西郷さんに所縁がある内容や場所をピックアップして、その場所に行った時に海外の方に説明ができるような英会話を学んでいただきました。講座の内容を考える際には、地域のニーズに合ったものを入れ込むようにしています。

英語は読む・書く・話すだけではありません。生活の中で使えて初めて英語が生きてきます。講座では単語や文法など基本的なものはもちろん学んでいただきますが、“使える英語”を身に付けていただくためには、日本人の言語の考え方や見え方の違いなどを掘み、それを加味した上で教えなければならないと考えています。そのために私自身、鹿児島大学教育学部の公開講座で英語教育を7年学んでいます。また、英会話のクラスの他に「英語絵本の読み聞かせ講座」があるのですが、海外の絵本は芸術として位置づけられることもあるんです。そしてすごく哲学的なんですね。英語の解釈を学ぶ講座になるので、私自身も英語学や英語史概論を学んでいます。

英語だけは他の言語と違う歴史を辿ってきました。色々な言葉が混ざり合ったから、皆が分かりやすく、世界の共通語になったんです。しかし、英語を“教える”となると、読む・書く・話すといった表面の英語だけでなく、解釈論が必要となってきます。目に見えない部分の理解が大切なんです。



コロナ禍の変容

ピンチをチャンスに

コロナ禍になり、対話での講座ができなくなりました。一年を通して作っていたプログラムも途中で止まったり、休講もあったので、継続したカリキュラムが出来なくなってしまいました。そんな中でもどうにか学びを繋げられるように、オンラインでケンブリッジ大学の教育プログラムを活用したりもしました。制約の中でプログラムを思い切って変えてみると、意外と内容がよりインターナショナルになったりもしたので、良い変容にもなったと思います。そのような流れもあり、今年度は市民協働課主催のソーシャルオンライン講座も受講しました。今後、鹿児島島の魅力を海外へプロモーションする際のSNS活用や講座集客方法のデジタル化に繋がっていきたいと考えています。

今後の展望

多文化を認め、高め合える地域社会づくり

今はニーズに合わせた講座を行っていますが、今後は一歩踏み込んだ講座を行っていきたいと思います。例えば講座での会話も全て英語ですること、英語を共通語とする海外の方も学ぶことができますよね。鹿児島島に在住する海外の方や留学中の方が、西郷さんや桜島のことを理解して、周りに伝えることもできる。そうすることで地域の国際化も進むと思いますし、多文化共生や多様化に繋がっていくと思います。

NPO法人 global 団体概要

● 理事長：大谷宏子

● 設立年：2011年

● 会員数：54名



● 連絡先：090-3415-1906

● mail：npoglobal39@gmail.com